

令和 6 年度 病院事業決算状況

都道府県名 福井県

総務省

- 目次 -

市町村・組合名	病院名	ページ
-	県立病院	2
-	すこやかシルバー病院	3
敦賀市	市立敦賀病院	4
坂井市	坂井市立三国病院	5
越前町	国保織田病院	6
公立小浜病院組合	小浜病院	7
公立小浜病院組合	レイクヒルズ美方病院	8
公立丹南病院組合	丹南病院	9

病院事業決算状況(令和6年度)				都道府県名	
				福井県	
市町村・組合名					
病院名		県立病院			
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透I未訓カ		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	87,902 m ²	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	27	指定病院の状況	救臨が感へ災地輪		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	500床以上		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和6年度	令和5年度	令和4年度
一般	551	81.5	81.9	80.3
療養	-	-	-	-
結核	6	41.9	31.8	38.3
精神	186	74.8	57.3	65.9
感染症	4	39.5	47.4	40.3
計	747	79.3	74.9	76.0
平均在院日数(一般病床のみ)		11.0	11.1	11.5

設立団体の状況		
人口(人)	766,863	
決算規模(千円)	511,183,883	
標準財政規模(千円)	270,199,824	
財政力指数	0.42101	
経常収支比率(%)	96.0	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	11.6
	将来負担比率(%)	146.6

損益計算書(千円・%)					
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均	
総収益	25,537,818				
1 経常収益	24,915,952				
(1) 医業収益	21,793,688				
(うち修正医業収益)	21,465,069				
入院収益	15,377,105				
外来収益	5,702,156				
診療収入計	21,079,261				
繰延運営権対価収益	-				
運営権者更新投資収益	-				
その他医業収益	714,427				
(うち他会計負担金)	328,619				
(2) 医業外収益	3,122,264				
(うち国・都道府県補助金)	37,017				
(うち他会計補助・負担金)	1,595,611				
(うち長期前受金戻入)	1,259,462				
(うち資本費繰入収益)	-				
(3) 特別利益	621,866				
(うち他会計繰入金)	-				
総費用	26,714,177				
2 経常費用	26,713,589				
(1) 医業費用	25,115,482				
職員給与費	11,765,361	54.0	60.8	53.3	
材料費	6,802,009	31.2	27.1	33.0	
(うち薬品費)	3,794,551	17.4	14.8	18.6	
(うち薬品費以外の医薬材料費)	2,818,606	12.9	11.8	14.1	
減価償却費	1,863,147	8.5	8.6	7.4	
経費	4,558,606	20.9	22.0	17.2	
(うち委託料)	3,042,435	14.0	11.8	10.2	
研究研修費	73,051				
資産減耗費	53,308				
(2) 医業外費用	1,598,107				
(うち支払利息)	307,748	1.4	0.9	0.7	
(3) 特別損失	588				
経常損益	-1,797,637				
純損益	-1,176,359				
累積欠損金	774,727				
経常収支比率	93.3		93.0	94.3	
医業収支比率	86.8		83.9	89.6	
修正医業収支比率	85.5		81.0	87.6	
他会計繰入金対経常収益比率	7.7		12.2	7.6	
他会計繰入金対医業収益比率	8.8		14.3	8.5	
他会計繰入金対総収益比率	7.5		12.3	7.6	
実質収益対経常費用比率	86.1		81.6	87.1	

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	41,806,435
1 固定資産	29,772,012
(1) 有形固定資産	26,219,781
(2) 無形固定資産	804
(3) 投資その他の資産	3,551,427
2 流動資産	12,034,423
(1) 現金及び預金	7,276,804
(2) 未収金及び未収収益	4,558,762
(3) 貸倒引当金()	6,323
(4) 貯蔵品	205,179
3 繰延資産	-
負債合計	36,777,555
1 固定負債	24,893,690
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	19,577,953
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	5,315,737
(6) リース債務	-
2 流動負債	7,193,116
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	3,386,865
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	646,959
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	2,975,144
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	4,690,749
(1) 長期前受金	39,414,547
(2) 長期前受金収益化累計額()	34,723,798
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	5,028,880
1 本金	3,523,278
2 剰余金	1,505,602
(1) 資本剰余金	870,579
(2) 利益剰余金	635,023
負債・資本合計	41,806,435
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	1,877,184	1,924,230
資本勘定繰入	1,791,217	1,848,287
計	3,668,401	3,772,517

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和6年度	-	-
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたもの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和6年度)		都道府県名	
		福井県	
市町村・組合名			
病院名	すこやかシルバー病院		
施設及び業務概況等			
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	
病院区分	精神科病院	不採算地区病院	非該当
建物面積	7,485 m ²	不採算地区中核病院	非該当
診療科数	4	指定病院の状況	
許可公営企業		看護配置	20:1
DPC対象病院	-	経営形態	指定管理者(代行制)
		類似区分	精神病院

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和6年度	令和5年度	令和4年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	100	88.7	83.8	81.8
感染症	-	-	-	-
計	100	88.7	83.8	81.8
平均在院日数(一般病床のみ)				
		-	-	-

設立団体の状況		
人口(人)	766,863	
決算規模(千円)	511,183,883	
標準財政規模(千円)	270,199,824	
財政力指数	0.42101	
経常収支比率(%)	96.0	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	11.6
	将来負担比率(%)	146.6

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	828,146			
1 経常収益	827,774			
(1) 医業収益	589,372			
(うち修正医業収益)	589,372			
入院収益	506,745			
外来収益	82,627			
診療収入計	589,372			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	238,402			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	202,005			
(うち長期前受金戻入)	24,008			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	372			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	799,530			
2 経常費用	798,139			
(1) 医業費用	788,789			
職員給与費	-	-	60.8	108.5
材料費	-	-	27.1	9.4
(うち薬品費)	-	-	14.8	6.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.8	1.4
減価償却費	72,580	12.3	8.6	12.6
経費	714,644	121.3	22.0	34.8
(うち委託料)	-	-	11.8	15.4
研究研修費	-			
資産減耗費	1,565			
(2) 医業外費用	9,350			
(うち支払利息)	5,602	1.0	0.9	2.1
(3) 特別損失	1,391			
損益	29,635			
純損益	28,616			
累積欠損金	-			
経常収支比率	103.7		93.0	95.5
医業収支比率	74.7		83.9	60.3
修正医業収支比率	74.7		81.0	57.7
他会計繰入金対経常収益比率	24.4		12.2	35.6
他会計繰入金対医業収益比率	34.3		14.3	58.4
他会計繰入金対総収益比率	24.4		12.3	35.3
実質収益対経常費用比率	78.4		81.6	61.5

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	41,806,435
1 固定資産	29,772,012
(1) 有形固定資産	26,219,781
(2) 無形固定資産	804
(3) 投資その他の資産	3,551,427
2 流動資産	12,034,423
(1) 現金及び預金	7,276,804
(2) 未収金及び未収収益	4,558,762
(3) 貸倒引当金()	6,323
(4) 貯蔵品	205,179
3 繰延資産	-
負債合計	36,777,555
1 固定負債	24,893,690
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	19,577,953
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	5,315,737
(6) リース債務	-
2 流動負債	7,193,116
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	3,386,865
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	646,959
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	2,975,144
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	4,690,749
(1) 長期前受金	39,414,547
(2) 長期前受金収益化累計額()	34,723,798
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	5,028,880
1 本金	3,523,278
2 剰余金	1,505,602
(1) 資本剰余金	870,579
(2) 利益剰余金	635,023
負債・資本合計	41,806,435
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	202,005	202,005
資本勘定繰入	106,677	106,677
計	308,682	308,682

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和6年度	-	-
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和6年度)				都道府県名	
				福井県	
市町村・組合名	敦賀市				
病院名	市立敦賀病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透未訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院			
建物面積	30,092 m ²	不採算地区中核病院	第2種該当		
診療科数	23	指定病院の状況	救臨が感災輪		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	300床以上~400床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和6年度	令和5年度	令和4年度
一般	330	65.1	63.9	63.9
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	2	-	-	-
計	332	64.7	63.5	63.6
平均在院日数(一般病床のみ)		15.1	15.3	15.9

設立団体の状況		
人口(人)	64,264	
決算規模(千円)	49,160,244	
標準財政規模(千円)	17,359,904	
財政力指数	0.85	
経常収支比率(%)	97.9	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	4.1
	将来負担比率(%)	-

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	8,043,245			
1 経常収益	8,043,245			
(1) 医業収益	7,112,199			
(うち修正医業収益)	6,746,134			
入院収益	4,109,515			
外来収益	2,360,500			
診療収入計	6,470,015			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	642,184			
(うち他会計負担金)	366,065			
(2) 医業外収益	931,046			
(うち国・都道府県補助金)	31,296			
(うち他会計補助・負担金)	490,337			
(うち長期前受金戻入)	298,310			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	9,071,656			
2 経常費用	9,058,597			
(1) 医業費用	8,620,258			
職員給与費	4,858,312	68.3	60.8	61.3
材料費	1,630,320	22.9	27.1	26.2
(うち薬品費)	866,469	12.2	14.8	14.5
(うち薬品費以外の医薬材料費)	755,929	10.6	11.8	11.2
減価償却費	560,683	7.9	8.6	8.5
経費	1,520,442	21.4	22.0	21.8
(うち委託料)	789,123	11.1	11.8	11.9
研究研修費	41,578			
資産減耗費	8,923			
(2) 医業外費用	438,339			
(うち支払利息)	34,780	0.5	0.9	0.9
(3) 特別損失	13,059			
経常損	-1,015,352			
純損益	-1,028,411			
累積欠損金	-			
経常収支比率	88.8		93.0	92.2
医業収支比率	82.5		83.9	84.6
修正医業収支比率	78.3		81.0	81.8
他会計繰入金対経常収益比率	10.6		12.2	10.8
他会計繰入金対医業収益比率	12.0		14.3	12.4
他会計繰入金対総収益比率	10.6		12.3	10.7
実質収益対経常費用比率	79.3		81.6	82.3

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	10,703,537
1 固定資産	6,759,601
(1) 有形固定資産	6,273,900
(2) 無形固定資産	216,612
(3) 投資その他の資産	269,089
2 流動資産	3,943,936
(1) 現金及び預金	2,509,564
(2) 未収金及び未収収益	1,416,020
(3) 貸倒引当金()	3,462
(4) 貯蔵品	21,814
3 繰延資産	-
負債合計	7,966,985
1 固定負債	3,067,737
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,884,353
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	1,166,268
(6) リース債務	17,016
2 流動負債	1,307,508
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	445,088
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	351,017
(6) リース債務	12,448
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	474,141
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	3,591,740
(1) 長期前受金	11,382,645
(2) 長期前受金収益化累計額()	7,790,905
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	2,736,552
1 本金	2,433,060
2 剰余金	303,492
(1) 資本剰余金	168,758
(2) 利益剰余金	134,734
負債・資本合計	10,703,537
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	850,758	856,402
資本勘定繰入	236,639	236,639
計	1,087,397	1,093,041

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和6年度	-	-
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和6年度)				都道府県名	
				福井県	
市町村・組合名	坂井市				
病院名	坂井市立三国病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	8,291 m ²	不採算地区中核病院			
診療科数	12	指定病院の状況	救		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	50床以上~100床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和6年度	令和5年度	令和4年度
一般	97	79.6	72.0	69.1
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	97	79.6	72.0	69.1
平均在院日数(一般病床のみ)		21.9	23.1	23.7

設立団体の状況	
人口(人)	88,481
決算規模(千円)	51,844,374
標準財政規模(千円)	24,779,238
財政力指数	0.60
経常収支比率(%)	96.4
健全化 判断比率	実質赤字比率(%) 連結実質赤字比率(%) 実質公債費比率(%) 将来負担比率(%)
	- - 8.2 8.3

損益計算書(千円・%)					
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均	
総収益	2,270,175				
1 経常収益	2,267,475				
(1) 医業収益	1,858,784				
(うち修正医業収益)	1,802,790				
入院収益	1,012,691				
外来収益	688,355				
診療収入計	1,701,046				
繰延運営権対価収益	-				
運営権者更新投資収益	-				
その他医業収益	157,738				
(うち他会計負担金)	55,994				
(2) 医業外収益	408,691				
(うち国・都道府県補助金)	19,589				
(うち他会計補助・負担金)	345,006				
(うち長期前受金戻入)	15,221				
(うち資本費繰入収益)	-				
(3) 特別利益	2,700				
(うち他会計繰入金)	-				
総費用	2,343,240				
2 経常費用	2,342,382				
(1) 医業費用	2,224,677				
職員給与費	1,282,324	69.0	60.8	82.0	
材料費	276,450	14.9	27.1	14.2	
(うち薬品費)	119,618	6.4	14.8	7.3	
(うち薬品費以外の医薬材料費)	130,624	7.0	11.8	6.1	
減価償却費	176,789	9.5	8.6	12.5	
経費	485,928	26.1	22.0	34.4	
(うち委託料)	243,849	13.1	11.8	16.9	
研究研修費	2,196				
資産減耗費	990				
(2) 医業外費用	117,705				
(うち支払利息)	33,621	1.8	0.9	1.2	
(3) 特別損失	858				
経常損益	-74,907				
純損益	-73,065				
累積欠損金	2,113,583				
経常収支比率	96.8		93.0	93.1	
医業収支比率	83.6		83.9	69.6	
修正医業収支比率	81.0		81.0	65.2	
他会計繰入金対経常収益比率	17.7		12.2	26.7	
他会計繰入金対医業収益比率	21.6		14.3	38.3	
他会計繰入金対総収益比率	17.7		12.3	26.8	
実質収益対経常費用比率	79.7		81.6	68.2	

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	3,264,026
1 固定資産	2,279,108
(1) 有形固定資産	2,260,030
(2) 無形固定資産	6,760
(3) 投資その他の資産	12,318
2 流動資産	984,918
(1) 現金及び預金	652,007
(2) 未収金及び未収収益	325,829
(3) 貸倒引当金()	1,530
(4) 貯蔵品	8,612
3 繰延資産	-
負債合計	1,828,371
1 固定負債	1,401,737
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,401,737
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
2 流動負債	355,001
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	152,012
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	90,812
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	109,479
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	71,633
(1) 長期前受金	158,182
(2) 長期前受金収益化累計額()	86,549
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	1,435,655
1 資本金	3,549,238
2 剰余金	-2,113,583
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-2,113,583
負債・資本合計	3,264,026
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	321,000	401,000
資本勘定繰入	99,000	99,000
計	420,000	500,000

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和6年度	-	-
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	113.7
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和6年度)				都道府県名	
				福井県	
市町村・組合名	越前町				
病院名	国保織田病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド 訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	4,216 m ²	不採算地区中核病院			
診療科数	13	指定病院の状況	救		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	-	経営形態	指定管理者(利用料金制)		
		類似区分	50床以上~100床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和6年度	令和5年度	令和4年度
一般	55	85.9	82.2	76.5
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	55	85.9	82.2	76.5
平均在院日数(一般病床のみ)		21.5	16.0	15.1

設立団体の状況	
人口(人)	20,118
決算規模(千円)	15,667,092
標準財政規模(千円)	8,067,248
財政力指数	0.33
経常収支比率(%)	95.8
健全化 判断比率	実質赤字比率(%) 連結実質赤字比率(%) 実質公債費比率(%) 将来負担比率(%)
	- - 10.2 -

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	153,296			
1 経常収益	153,296			
(1) 医業収益	36,294			
(うち修正医業収益)	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	36,294			
(うち他会計負担金)	36,294			
(2) 医業外収益	117,002			
(うち国・都道府県補助金)	1,645			
(うち他会計補助・負担金)	93,334			
(うち長期前受金戻入)	21,988			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	151,272			
2 経常費用	151,272			
(1) 医業費用	146,475			
職員給与費	-	-	60.8	82.0
材料費	-	-	27.1	14.2
(うち薬品費)	-	-	14.8	7.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.8	6.1
減価償却費	94,488	260.3	8.6	12.5
経費	51,451	141.8	22.0	34.4
(うち委託料)	2,348	6.5	11.8	16.9
研究研修費	-			
資産減耗費	536			
(2) 医業外費用	4,797			
(うち支払利息)	4,797	13.2	0.9	1.2
(3) 特別損失	-			
経常損益	2,024			
純損益	2,024			
累積欠損金	-			
経常収支比率	101.3		93.0	93.1
医業収支比率	24.8		83.9	69.6
修正医業収支比率	-		81.0	65.2
他会計繰入金対経常収益比率	84.6		12.2	26.7
他会計繰入金対医業収益比率	357.2		14.3	38.3
他会計繰入金対総収益比率	84.6		12.3	26.8
実質収益対経常費用比率	15.6		81.6	68.2

備考：
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	1,352,459
1 固定資産	1,094,821
(1) 有形固定資産	1,094,714
(2) 無形固定資産	107
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	257,638
(1) 現金及び預金	257,638
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	708,326
1 固定負債	183,345
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	183,345
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
2 流動負債	126,326
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	115,736
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	10,590
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	398,655
(1) 長期前受金	588,940
(2) 長期前受金収益化累計額()	190,285
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	644,133
1 資本金	329,312
2 剰余金	314,821
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	314,821
負債・資本合計	1,352,459
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実績入額
収益勘定繰入	122,520	129,628
資本勘定繰入	68,662	46,413
計	191,182	176,041

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和6年度	-	-
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和6年度)				都道府県名 福井県
市町村・組合名	公立小浜病院組合			
病院名	小浜病院			
施設及び業務概況等				
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透Ⅰ 訓力	
病院区分	一般病院	不採算地区病院		
建物面積	32,339 m ²	不採算地区中核病院	第2種該当	
診療科数	21	指定病院の状況	救臨 感へ 災 輪	
許可公営企業		看護配置	10:1	
DPC対象病院	対象	経営形態	直営	
		類似区分	400床以上～500床未満	

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和6年度	令和5年度	令和4年度
一般	296	77.8	78.1	73.7
療養	50	84.3	75.4	63.0
結核	8	2.1	9.2	4.8
精神	100	59.7	77.1	73.4
感染症	2	100.0	100.0	100.0
計	456	73.3	76.5	71.3
平均在院日数(一般病床のみ)		16.4	16.4	15.9

設立団体の状況	
人口(人)	-
決算規模(千円)	-
標準財政規模(千円)	-
財政力指数	-
経常収支比率(%)	-
健全化判断比率	実質赤字比率(%)
	連結実質赤字比率(%)
	実質公債費比率(%)
	将来負担比率(%)

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	9,462,140			
1 経常収益	9,462,140			
(1) 医業収益	7,629,972			
(うち修正医業収益)	7,426,265			
入院収益	4,886,329			
外来収益	2,286,362			
診療収入計	7,172,691			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	457,281			
(うち他会計負担金)	203,707			
(2) 医業外収益	1,832,168			
(うち国・都道府県補助金)	33,484			
(うち他会計補助・負担金)	619,556			
(うち長期前受金戻入)	159,811			
(うち資本費繰入収益)	240,329			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	9,945,074			
2 経常費用	9,945,074			
(1) 医業費用	8,710,289			
職員給与費	4,883,669	64.0	60.8	58.1
材料費	1,721,700	22.6	27.1	29.1
(うち薬品費)	941,163	12.3	14.8	15.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	631,937	8.3	11.8	12.7
減価償却費	620,965	8.1	8.6	8.1
経費	1,363,743	17.9	22.0	18.7
(うち委託料)	516,760	6.8	11.8	10.4
研究研修費	103,541			
資産減耗費	16,671			
(2) 医業外費用	1,234,785			
(うち支払利息)	105,156	1.4	0.9	0.9
(3) 特別損失	-			
経常損失	-482,934			
純損失	-482,934			
累積欠損金	748,280			
経常収支比率	95.1		93.0	93.4
医業収支比率	87.6		83.9	87.3
修正医業収支比率	85.3		81.0	84.5
他会計繰入金対経常収益比率	8.7		12.2	9.8
他会計繰入金対医業収益比率	10.8		14.3	11.0
他会計繰入金対総収益比率	8.7		12.3	9.8
実質収益対経常費用比率	86.9		81.6	84.3

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円)	
区分	決算額
資産合計	12,735,608
1 固定資産	10,410,747
(1) 有形固定資産	10,151,553
(2) 無形固定資産	8,831
(3) 投資その他の資産	250,363
2 流動資産	2,324,861
(1) 現金及び預金	241,786
(2) 未収金及び未収収益	1,457,174
(3) 貸倒引当金()	349
(4) 貯蔵品	58,411
3 繰延資産	-
負債合計	10,254,663
1 固定負債	5,689,155
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	5,689,155
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
2 流動負債	2,666,431
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	932,048
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	426,050
(6) リース債務	2,524
(7) 一時借入金	475,000
(8) 未払金及び未払費用	751,678
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	1,899,077
(1) 長期前受金	3,864,647
(2) 長期前受金収益化累計額()	1,965,570
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	2,480,945
1 本金	3,149,145
2 剰余金	-668,200
(1) 資本剰余金	404,413
(2) 利益剰余金	-1,072,613
負債・資本合計	12,735,608
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実績入額
収益勘定繰入	827,735	823,263
資本勘定繰入	497,381	242,013
計	1,325,116	1,065,276

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和6年度	-	-
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	16.4
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和6年度)		都道府県名	
		福井県	
市町村・組合名	公立小浜病院組合		
病院名	レイクヒルズ美方病院		
施設及び業務概況等			
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	訓
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当
建物面積	13,137 m ²	不採算地区中核病院	
診療科数	9	指定病院の状況	
許可公営企業		看護配置	13:1
DPC対象病院	-	経営形態	直営
		類似区分	100床以上~200床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和6年度	令和5年度	令和4年度
一般	42	77.7	75.5	71.2
療養	58	79.0	80.0	79.2
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	100	78.4	78.1	75.9
平均在院日数(一般病床のみ)		24.7	24.0	22.8

設立団体の状況	
人口(人)	-
決算規模(千円)	-
標準財政規模(千円)	-
財政力指数	-
経常収支比率(%)	-
健全化判断比率	実質赤字比率(%)
	連結実質赤字比率(%)
	実質公債費比率(%)
	将来負担比率(%)

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,129,045			
1 経常収益	1,129,045			
(1) 医業収益	757,558			
(うち修正医業収益)	757,558			
入院収益	596,180			
外来収益	137,678			
診療収入計	733,858			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	23,700			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	371,487			
(うち国・都道府県補助金)	3,058			
(うち他会計補助・負担金)	261,671			
(うち長期前受金戻入)	16,961			
(うち資本費繰入収益)	84,623			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,054,046			
2 経常費用	1,054,046			
(1) 医業費用	1,004,735			
職員給与費	656,216	86.6	60.8	69.3
材料費	89,922	11.9	27.1	18.4
(うち薬品費)	49,911	6.6	14.8	8.7
(うち薬品費以外の医薬材料費)	36,218	4.8	11.8	9.1
減価償却費	45,463	6.0	8.6	10.8
経費	200,887	26.5	22.0	29.9
(うち委託料)	115,673	15.3	11.8	13.7
研究研修費	1,173			
資産減耗費	11,074			
(2) 医業外費用	49,311			
(うち支払利息)	16,648	2.2	0.9	1.0
(3) 特別損失	-			
経常損益	74,999			
純損益	74,999			
累積欠損金	624,995			
経常収支比率	107.1		93.0	91.6
医業収支比率	75.4		83.9	77.4
修正医業収支比率	75.4		81.0	73.2
他会計繰入金対経常収益比率	23.2		12.2	17.7
他会計繰入金対医業収益比率	34.5		14.3	22.2
他会計繰入金対総収益比率	23.2		12.3	17.9
実質収益対経常費用比率	82.3		81.6	75.4

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	12,735,608
1 固定資産	10,410,747
(1) 有形固定資産	10,151,553
(2) 無形固定資産	8,831
(3) 投資その他の資産	250,363
2 流動資産	2,324,861
(1) 現金及び預金	241,786
(2) 未収金及び未収収益	1,457,174
(3) 貸倒引当金()	349
(4) 貯蔵品	58,411
3 繰延資産	-
負債合計	10,254,663
1 固定負債	5,689,155
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	5,689,155
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
2 流動負債	2,666,431
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	932,048
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	426,050
(6) リース債務	2,524
(7) 一時借入金	475,000
(8) 未払金及び未払費用	751,678
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	1,899,077
(1) 長期前受金	3,864,647
(2) 長期前受金収益化累計額()	1,965,570
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	2,480,945
1 本金	3,149,145
2 剰余金	-668,200
(1) 資本剰余金	404,413
(2) 利益剰余金	-1,072,613
負債・資本合計	12,735,608
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	256,061	261,671
資本勘定繰入	57,113	89,623
計	313,174	351,294

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和6年度	-	-
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	16.4
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和6年度)		都道府県名	
		福井県	
市町村・組合名	公立丹南病院組合		
病院名	丹南病院		
施設及び業務概況等			
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透訓
病院区分	一般病院	不採算地区病院	
建物面積	15,070 m ²	不採算地区中核病院	第2種該当
診療科数	16	指定病院の状況	救臨感へ災輪
許可公営企業		看護配置	7:1
DPC対象病院	対象	経営形態	指定管理者(利用料金制)
		類似区分	100床以上~200床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和6年度	令和5年度	令和4年度
一般	175	63.5	62.5	64.8
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	4	-	-	-
計	179	62.1	61.1	63.3
平均在院日数(一般病床のみ)		9.7	10.5	10.3

設立団体の状況	
人口(人)	-
決算規模(千円)	-
標準財政規模(千円)	-
財政力指数	-
経常収支比率(%)	-
健全化判断比率	実質赤字比率(%)
	連結実質赤字比率(%)
	実質公債費比率(%)
	将来負担比率(%)

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	406,742			
1 経常収益	406,742			
(1) 医業収益	155,146			
(うち修正医業収益)	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	155,146			
(うち他会計負担金)	155,146			
(2) 医業外収益	251,596			
(うち国・都道府県補助金)	2,029			
(うち他会計補助・負担金)	45,443			
(うち長期前受金戻入)	134,205			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	470,320			
2 経常費用	470,320			
(1) 医業費用	453,905			
職員給与費	-	-	60.8	69.3
材料費	-	-	27.1	18.4
(うち薬品費)	-	-	14.8	8.7
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.8	9.1
減価償却費	289,724	186.7	8.6	10.8
経費	81,030	52.2	22.0	29.9
(うち委託料)	4,265	2.7	11.8	13.7
研究研修費	-			
資産減耗費	83,151			
(2) 医業外費用	16,415			
(うち支払利息)	8,782	5.7	0.9	1.0
(3) 特別損失	-			
経常損益	-63,578			
純損益	-63,578			
累積欠損金	2,091,614			
経常収支比率	86.5		93.0	91.6
医業収支比率	34.2		83.9	77.4
修正医業収支比率	-		81.0	73.2
他会計繰入金対経常収益比率	49.3		12.2	17.7
他会計繰入金対医業収益比率	129.3		14.3	22.2
他会計繰入金対総収益比率	49.3		12.3	17.9
実質収益対経常費用比率	43.8		81.6	75.4

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	4,725,819
1 固定資産	4,402,412
(1) 有形固定資産	4,402,412
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	323,407
(1) 現金及び預金	278,045
(2) 未収金及び未収収益	45,362
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	2,594,313
1 固定負債	1,108,989
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,108,989
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
2 流動負債	276,727
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	246,494
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	30,220
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	1,208,597
(1) 長期前受金	2,427,490
(2) 長期前受金収益化累計額()	1,218,893
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	2,131,506
1 資本金	746,619
2 剰余金	1,384,887
(1) 資本剰余金	3,476,501
(2) 利益剰余金	-2,091,614
負債・資本合計	4,725,819
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	198,427	200,589
資本勘定繰入	56,700	56,700
計	255,127	257,289

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和6年度	-	-
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	1348.2
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。